



2020年4月24日

各 位

上場会社名 株式会社 中京医薬品
 代表者 代表取締役社長 米津 秀二
 (コード番号 4558)
 問合せ先責任者 取締役 飯田 亨
 (TEL 0569-29-0202)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 5,572 | 114 | 126 | 45 | 5.42 |
| 今回修正予想(B) | 5,166 | 71 | 86 | 10 | 1.19 |
| 増減額(B-A) | △406 | △43 | △40 | △35 | |
| 増減率(%) | △7.2 | △37.7 | △31.7 | △77.7 | |
| (ご参考)前期実績 (2019年3月期) | 5,255 | 5 | 26 | 28 | 3.41 |

修正の理由

2020年3月期通期の業績予想につきましては、家庭医薬品等販売事業の卸売部門においては、今般の感染予防に対する意識の高まりにより除菌消臭関連商品の販売は堅調に推移しました。小売部門においては、全国の営業社員が担当する地域の見直しと直行・直帰の導入により営業効率の改善並びに営業時間の確保を図りました。また、顧客先への商品委託を強化することにより、営業人員で左右されない顧客主導型の安定的な収益基盤の確立に取り組みました。しかしながら上期から実施したこれらの施策が現場へ浸透するまで時間を要したことや、労務管理の負荷、商品委託先行による営業資材の投下などにより業績の出遅れを招きました。下期は施策の浸透と定着が進み生産性が持ち直したものの、上期の業績の出遅れと営業人員の減少により売上高の持ち直しには至らず前回業績予想との比較で7.2%減となりました。それに伴い、営業利益は37.7%減の71百万円、経常利益は31.7%減の86百万円となる見込みであります。当期純利益は一部営業所の減損損失9百万円があり77.7%減の10百万円となる見込みであります。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以上